

りょうCaféのご案内

1. りょうCafé議会レポ

- 2019年7月5日(金)19時~21時@中央公民館
- 2019年7月6日(土)13時~16時@新高根公民館

平成31年第2回定例会の報告会です。今定例会で決まったこと、話し合われたことの注目ポイントを、石川りょうがわかりやすく解説します。



2. りょうCafé芝山団地商店街

- 基本は毎週水曜日の10時から正午@芝山団地商店街

日々の相談事から、市政へのご質問・ご意見、世間話まで、話題は何でも結構です。市民の皆さんの生の声をお聞かせください！石川りょうと個別に話したいという方に向けたりょうCaféです。

*参加費無料。途中入退室はいつでも可能です。お気軽にご参加ください！
*日時等の変更の可能性があるため、石川りょう公式サイト、他のSNS等で必ずご確認ください。

プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院



▲ 当選のお祝いをしていただきました

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(2期目)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT)257点(TOEIC915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、ふなばし市民大学平成26年度ボランティア入門学科

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。

発行者: 石川亮
住所: 船橋市芝山3-26-1
携帯電話: 080-6575-4711
固定電話: 047-463-2690
メール: info@ishikawaryo.net

船橋市議会議員 無所属

石川りょう通信

Vol.25

討議資料



「石川りょう」という名前を超えたかった。

平成31年4月21日に執行された船橋市議会議員選挙にて、**2期目の当選**をさせていただくことができました。誠にありがとうございました。

4年前にいただいた票が5,923票。そして、今回いただいた票が8,462票。初当選させていただいた後、色々ところで、「石川りょうという名前のおかげで当選した」と言われ続けてきました。

私は市議会議員の仕事が大好きです。誇るべき仕事だと思っていますし、とてもやりがいがあります。なので、朝の駅頭から、市役所での業務、市民の皆さんとの意見交換、タウンミーティングなど、どれ一つ苦にならず頑張ってきました。

しかし、常に心の中にあっただことは、「**石川りょうという名前を超えたい**」という気持ちでした。初当選時の得票数より今回の得票数が下がっていたら、初当選時の私の得票数は、ある意味、ポピュリズム(人気投票)的な要素が大きかったのだろうと思っていました。だからこそ、1期4年間で、市民の皆様から議員としての本当の信託を得たいという強い決意を持っていました。今回、それができたということに関しては、4年間しっかりと活動してきた良かったと感じております。

私は、この4年間、①**市民の皆さんの話**

を聴く、②**調査研究する**、③**議会で議決をする**、④**市民の皆さんに報告する**、という議員として当たり前仕事を繰り返していただけています。議員としての仕事をしっかりと実行していれば、必ず市民の皆さんに評価をしていただけるということがわかれば、議員を志す人も増えるのではないのでしょうか。

今回の選挙では、50人の定数に対して60人しか立候補しませんでした。しかも投票率はたったの34.34%。今ほどまともに仕事をする議員が求められている時代はないと思います。2期目は、まともに仕事をする議会の旗振り役になり、船橋市政に関心を持つ市民の皆さんを一人でも増やしていきたいと思っています。そのためにも、1期目と同様のスタンスで議員活動を続けてまいりますので、引き続き**市民の皆さんによる石川りょうへの厳しいチェックをよろしくお願いいたします。**



この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ で検索! または、QRコードはこちら →



石川りょう 2期目の目標

一人の船橋市民として

● 船橋市の行政は全て総合計画に基づいています。現計画の期限は20年度まで。2021年度以降の新しい計画の策定が始まっています。10年後の船橋市を見据えた総合計画の策定に積極的に取り組みます。

● 昨年、①ごみ量の削減、②経費の節減、③再利用の推進のために、可燃ごみの回収回数が3回から2回に減りました。この効果検証を行うとともに、夜間のごみ出し時間の変更やごみ置き場の在り方、将来的な戸別収集の可能性など、**ごみ行政**を考えます。

一人の働く現役世代として

● 将来世代にツケは残さない。船橋市の財政状況は芳しくありません。無駄なハコモノは作らない、市の運営体制の在り方を見直す。**行財政改革**を徹底的に行います。

● 障がい者や難病の患者、性的少数者(LGBT)など、本市には多様な人々が暮らしていますが、差別や偏見などに苦しんでいる例も多く見られます。**マイノリティ**の方々にとっても働きやすく、生活しやすい船橋市にするための施策を提案していきます。

一人の子育て世代として

- 本年10月から、幼児教育と保育の無償化が予定されています。**保育所待機児童の解消**や、幼児教育の一層の充実尽力します。
- 待機児童問題は保育所だけではなく、小学校の**放課後ルーム**にも存在する待機児童を解消します。同時に、将来的な放課後ルームと放課後子ども教室の在り方についても研究します。
- 南船橋駅南口に2025年を目標として、**児童相談所**の設置構想が示されました。人員や組織体制はどのように整えていくのか、場所はそこでいいのかなど、しっかり議論し、本市にとって最良となる見相の設置を目指します。



一人の市議会議員として

● 船橋市議会が活性化し、市長部局(執行部)と善政競争を繰り広げることによって、船橋市はもっと良くなると信じています。せっかく50人も議員がいるのですから、知恵を出し合い議論する、必要な時には団結する、政策や条例を提案するなどといった「機関(組織)としての議会」を目指すべきです。そのために必要な、議員としての心構え、目指すべき議会の在り方、市民の皆さんと議会の関わり方などを定めた**議会基本条例の制定**を目指します。

一人の国際人として

● 出入国管理法の改正を受けて、今年の4月以降、船橋市にも**外国人住民**がさらに増えることが予想されます。受け入れることになった以上、大切な隣人として共生することを目指すべきです。そのための、①語学教育、②相談サービス、③ごみ出しや自転車のマナーといった社会教育などの充実を図ります。

● 2015年の国連サミットで採択された、世界基準の持続可能な開発目標である**SDGs**を船橋市でも推進していきます。

1. 客引き行為の取締りが強化されます！

船橋市客引き行為等防止条例。船橋駅南口、津田沼駅北口、西船橋駅北口の3エリアを取締るものですが、船橋市に本気で取締まる気概が見えず、客引きが減らなかったことはこれまでの通信でもお伝えしてきた通りです。しかし、これでは何のための条例なのかという市民の皆さんの声を受け、石川りょうは議会や委員会の場で、取締りの人員や体制の拡充について提言してきました。石川りょうの提言が4月から実現されることになりました。その内容を以下の表にまとめました。

	2019年4月以前	2019年4月以降
人員	非常勤職員(警察OB): 4人	非常勤職員(警察OB): 4人 警備委託: 6人
日数	1週間に3日間	1週間に6日間 * 日曜日と祝日も含む
時間	17時半~20時過ぎ	15時~22時

これまでたったの4人で1週間に3日間だけ、しかも17時半から20時過ぎという短時間での取締まりでした。これでよく客引きがいなくなると考えたものです。条例として定めたのであれば、徹底的に取締るべきです。まずは、4月以降の体制の強化で、どのような効果が出てくるのかを見極めていきたいと思えます。

2. 芝山西小学校の放課後ルーム待機児童問題

先日、芝山西小学校(以下、西小)の入学式に出席させていただいた際に、保護者の方々からご相談をいただいたのが放課後ルームの待機児童の問題でした。

西小では、今年度に25人もの待機児童が発生してしまいました。その内訳は、4~6年生で10人、1~3年生で15人です。待機児童が発生してしまった学校は他にもありますが、低学年にここまで多くの待機児童が生じてしまったことは西小の特徴です。入学式後、すぐに子育て支援部と協議しました。要点をまとめると以下の通りです。

- 子育て支援部としても、西小の待機児童の多さ、特に低学年の児童の待機児童の多さは認識しており、なんとかしたいという気持ちを持っている。
- 西小周辺は住宅開発が進んでおり、今後も生徒数が増えると推定している。
- 西小の校長をはじめ、船橋市教育委員会と、学校内のスペースや人員配置等、必要なことについて協議をしていく。

現在、船橋市では、行財政改革が声高に叫ばれています。私も、行政の効率化をほかり、無駄な事業を廃止・縮小する行革自体は推進すべきと考えています。しかし、放課後ルームのように本当に必要とされている施設や事業などは実施すべきです。子どもたちや保護者の皆さんにとっての1年という期間の重みは、大人たちの同じ期間とは違う重みをもっていると思えます。船橋市による迅速な対応を望みます。

